

令和4年度 学校関係者評価報告書

III 教育目標・計画

- 日本医師会認定医療秘書養成機関として、良好な医療体制を構成するチーム医療の一員として医療機関で重要な役割を担う医療秘書を育成する。
- 教育環境に常に気をくばり対応するとともに、社会・医療関係者の意見をより多く取り入れる。
- 学院生便覧(学則・細則・教育課程・教務規程・学生の心得等のさまざまな規程)を理解させ教育を行う
- 教職員は、学生の伴奏者であることを自覚し、学生個々の将来を見据えた教育を行う。

教育目標・計画に対する評価・意見

・概ね良好です。
 ・医療現場での働き方改革が進められていく中で、医療秘書に対する期待は益々大きくなっています。現場で必要とされる役割を担える人材の育成が学院の使命だと思いますので、学院としても医療現場の声を聞き、現場で求められる技能・能力を習得できるように、より一層、努力されたい。
 ・コロナ禍で大変だったと思いますが、就職希望者の決定率100%は良いことだと思います。

IV 評価項目の達成及び取組状況について

	学校関係者評価委員の評価			
	自己評価の結果が適切か	課題が適切か	改善策が適切か	自己評価・課題・改善策についての意見
	適切…4 やや適切…3 ほぼ不適切…2 不適切…1			
1. 教育理念	4	4	3	<ul style="list-style-type: none"> ・学院の理念や目標を学生や保護者に理解してもらうことは、教育効果をあげる上でも重要なので、学院として積極的な対応が求められる。 ・卒業生や勤務先医療機関に対してアンケート調査を実施することになっているが、結果を学校関係者評価委員にもフィードバックして欲しい。 ・コロナ禍の中での専門的な医療事務の知識と最新の情報処理技能を兼ね備えるのは大変だったと思います。 ・卒業生の状況把握は積極的に実施すべきだと考える。 ・課題にある医療現場でどう働いているか分からないについて、自分の目で見て確める実習などが大切だと思います。 ・医療秘書・医療事務の仕事について深く知るために、早い段階から病院から病院見学の機会を設けて欲しい。また仕事の一連の流れが分かるよう、動画などを使って工夫して欲しい。
2. 学校運営	4	4	3	<ul style="list-style-type: none"> ・改善策の進み具合への評価が必要と思います。 ・DXは全て業種で求められていることでもあり、学院の運営でも取り組みが必要だと思う。 ・評価の低い項目の改善に努めて欲しい。 ・書いて覚える事が、やはり大事ではないだろうか。 ・学校や職業の知名度はまだ低いと思うので、SNSを友好的に使うことで認知度をあげることがいいと思います。 ・記載されている改善策と同様に、学校訪問の地域拡大に努めて欲しい。
3. 教育活動 ①目標の設定等	3	4	3	<ul style="list-style-type: none"> ・学院として医療現場のニーズを把握した上で、教育に活かす姿勢が求められる。 ・基本をしっかり勉強する。 ・自分で目標を立て、考える事は少ないと思うのでそれを考えさせて、取り組んでいく姿勢が大事だと思います。 ・より多くの資格取得に挑戦できるよう、環境作りをして欲しい。学生のレベルアップに向けて課題の質をあげる。
3. 教育活動 ②教育方法・評価等	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・学習への動機づけの強化が必要と思います。 ・医療カリキュラムの学べる授業。 ・あいさつや言葉遣いはとても大事になってくるので、実戦を多くして経験していくことが大切だと思います。 ・実習先の評価で「挨拶や言葉遣い」を指摘されることは大きな問題点だと思うので、日頃から注意して欲しい。
3. 教育活動 ③資格試験	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・医療保険請求実技試験の合格率は受験した12校中10位であったこと、さらに日本医師会医療秘書認定試験の合格率は受験した13校中、最下位であったことは深刻に受け止めるべきではないか。自己評価「3.8」は高すぎるように感じた。 ・試験の過去問題のみの授業ではやる気が出ない。 ・意欲向上につながる校内の雰囲気づくりに課題があるように伺える。具体的な改善策を多く出し取り組んで行って欲しい。 ・本人の意欲が低いと何に対してもやる気がおきないと思うので、やる気が出るようなメンタルサポートが大事だと思います。 ・改善策と同様、放課後や長期休暇中に自主学習場所として教室を利用したかった。
3. 教育活動 ④教職員	4	3	4	<ul style="list-style-type: none"> ・内部の教員だけでなく、外部講師との情報共有・意見交換などにSNS等の活用をしてはどうか。 ・コロナ禍で現役ドクターの講師の方に来訪していただく事は大変なことだと思います。 ・評価の低い項目の改善に努めて欲しい。 ・その時代の変化によって教育方法は変わってくると思うので、臨機応変に対応していった方がいいと思います。 ・現役ドクターの授業があることは、貴校の魅力の一つでもあるため、継続して欲しい。
4. 学習成果	4	4	3	<ul style="list-style-type: none"> ・目標の資格取得に向けて、今年度の結果を分析したうえで、改善策を検討することが必要だと思う。学生の意識に課題を置いているが、そのためには教員による工夫が求められるのではないかと。 ・就職決定率が100%。資格取得率の評価もできる。 ・例年に比べ課題が多く、資格取得につながる深刻な状況のように見える。原因分析を続け改善して欲しい。 ・目指す所がないと自分が何をしたらいいか分からなくなるので、目標を明確にさせることが大切だと思います。 ・遅刻や欠席の理由を把握し、無断欠席を減らし、社会に出ても恥ずかしくないよう指導して欲しい。
5. 学生支援	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・卒後のフォローアップやリスキングなど、卒業生に対する支援を学院として考えていく必要があるのではないかと。 ・卒業後の教育支援として県医師会が開催している「医療クラークを育てる会」を有効活用できないか。 ・少しでも両親の負担を減らして勉強に励む。 ・就職については本人は不安なことが多いと思うので、意見を聞いてアドバイスすることが大切になってくると思います。 ・就職活動を意識した面接練習や言葉遣い、身だしなみ等を徹底し、より実践的な授業をして欲しい。
6. 教育環境	3	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・2階からの避難する為の救助袋、避難はしごなど。 ・防災面においては、いつ何が起きるか分からないので、なるべく早めに対策した方がいいと思います。 ・予算を大幅に倍額し、早急に避難器具や机等の最低限の備品を購入する。
7. 学生の受入れ募集	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・募集の冊子を刷新するなど、努力がみられる。 ・課題が多いが評価は高いので、実際の程度問題意識を持たれているかわからないが、積極的に入学生を確保して欲しい。 ・オープンキャンパスの内容も毎回同じではなく、少しずつ変えた方がいいと思います。 ・卒業生が自信を持って後輩や知人にお勧め出来るような環境作りを心がけ、紹介者割引などの制度を整えて欲しい。
8. 財務	4	4	4	
9. 法令等の遵守	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護法の扱い方に検討あり。

V 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果についての意見

・合格率アップへの取り組みが期待されます。
 ・新型コロナウイルスの影響が少なくなるに従い、より学生との対面での指導などを充実することが求められていくと思う。今まで以上に、一人ひとりの学生を大切にすることが求められ、教職員の負担が増えると思われるが、情熱をもって教育・指導をされたい。
 ・書面だけでは具体的な内容が分からないため、評価は難しい。
 ・コロナの収束がいつに成るか、感染が減りつつ有るが、見極めが大変だけど頑張っていく。
 ・学生の生活習慣、学習環境の悪化が見られるようなので、高い合格率を保つための改善策を進めて欲しい。把握されている課題は具体的なものが多いので、一つずつクリアして欲しい。
 ・目標、改善点はかなりはっきりしているので、それを実行して、達成できればいいと思います。教育については、環境によってモチベーションも大きく変わってくると思うので、学びやすい環境作りが大事だと思います。